



集合場所の須磨寺池公園



続々集まる参加者とセレモニー会場



愛山協会主催
 第一回みどりの日を歩こう 2014.5.4
 須磨寺池公園 (セレモニー会場) → 須磨離宮 (自由散策)

六甲 (毎日) 登山の始まり
 明治 29 年 英人グループが居留外人の別荘地開発を行う。
 明治 36 年 諏訪山公園開園
 同 年 英人グループが六甲山ゴルフ場を開設する。
 明治 38 年 大石・新在家方面から登山コースが開設される。
 明治 41 年 英人ワレー等が再度山の登山道を開設する。
 外国人によって毎日登山がおこなわれていた。
 明治 43 年 背山の組織的登山の始まり神戸徒歩会が設立。
 大正 11~12 年 神戸突破嶺会、神戸ヒヨコ登山会、神戸愛山協会など登山愛好団体が生まれる。

五月晴れにも恵まれ、総勢 184 名の参加を得て、みどり眩しい離宮公園を満喫しました

神戸愛山協会の始まり
 大正 11 年の暮れ、その当時あった大小さまざまな登山会の中の中心
 的な 130 余りの会が「神戸背山の愛護と毎日登山の奨励」という共通
 の目的に賛同し結成されたのが「神戸愛山協会の誕生」でした。当時は
 禿山状態の背山に対し、植樹を中心とした緑化運動や山火事防止運動
 が主な活動で、各登山会会員は毎朝登山によって培った体力を、競って
 この活動の為に奉仕したと記録にあります。

背山緑化への市民参加 (林野庁の資料から)
 緑化のためボランティア活動を行っているのは六甲を緑にする会、毎日登山会、山田クラ
 ブ、叔母の山登山会、保久良登山会、一王登山会、摩耶登山会、神戸突破嶺会、布引山筋連
 合会、再度山登山連合会、鶴越登山会、旗振登山会、菊水山登ろう会、鳥原登山会、摩耶山
 を守ろう会等がある。



川崎副会長を先頭に離宮公園へ入園